

BRIG

— dBucket delay —

日本語ユーザーマニュアル



strymon®

もくじ

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
オンボードタップ・モード	5
リアパネルI/O & コントロール	6
モノ&ステレオI/Oケーブルの接続	6
パワーアップ・モード	9
Mono I/Oのバイパスモード	9
スピルオーバー・モード	10
ドライシグナル	11
LEDの輝度設定	12
EXP/MIDI ジャックの設定	13
外部コントロール	15
ディレイタイムをMIDIクロックに同期する	15
エクスプレッションペダルの設定	16
フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード	17
タップ&インフィニティ・モードとジャンバースイッチの設定	19
外部タップモードのスイッチ設定	20
インフィニティ・モードのスイッチ設定	21
MultiSwitch PLUS使用時のBRIGの設定	22
BRIG使用時のMultiSwitch PLUSの設定	23
MultiSwitch PLUSをプリセットモードで使用する場合	24
MultiSwitch PLUSでBRIGのプリセットを保存する場合	24
MultiSwitch PLUSでタップ/フェイバリット/インフィニティ・モードを使用する	25
MIDI機能	26
MIDIを使用するための設定	26
MIDI モードでプリセットを保存する	31
MIDI スペシフィケーション	32
MIDI プログラムチェンジ	32
MIDI コンティニュー・コントロール	33
ファクトリーリセット	34
ファクトリーデフォルト・セッティング	35
主な特徴	36
スペシフィケーション	37
電源アダプター規格	37
Appendix 1:サンプルセッティング	38
Appendix 2:パワーアップモード クイックリファレンス	40
品質保証に関して	43

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

VOICE/ボイス

3ポジションのトグルスイッチで、チップスタイルとMulti機能を選択します。これらは音色の特徴とタイムレンジが異なります。

3205：（左の位置） 30～300ミリ秒。単一の低電圧設定のMN3205 BBDチップを使用したビンテージ・ディレイペダルのキャラクターを再現し、ザラザラとしたりピート音を実現します。スラップバック、リード、SFサウンドに最適です。

3005：（中間位置） 100ミリ秒～1秒。2つのMN3005 BBDチップを高電圧設定で使用し、ドリーミーな音質でより長いディレイタイムを実現したビンテージディレイペダルのキャラクターを再現しています。

multi：（右の位置） 2つのクロス結合されたスーパークリーンなステレオBBDディレイラインです。黄金比のリピート音を再生し、複雑なサウンドスケープを生成します。

TIME/タイム

選択されたVOICEに応じてディレイタイムをコントロールします。ディレイクロック（ディレイタイムを決定するクロック信号）は連続可変なので、リピート中に回すとBBD独特の面白いピッチ効果が得られます。

FILTER/フィルター

選択したVOICE独自のEQフィルタリング、ノイズ、バケットロスを調整します。

REPEATS/リピート

ディレイの繰り返し回数を、1回から発振まで変化させます。

* 発振を起こさず、持続的に無限に繰り返すリピート音を得るには、3時に設定します。



NOTE：発振状態のリピート音は非常に大きく、非常に早く始まる可能性があります。短いディレイタイムでの高いリピート設定は避けて、この発振を防ぎましょう。

ノブとスイッチ

フロントパネル・コントロール

LEDインジケーター

エフェクトがオンの状態では、ディレイタイムのテンポに合わせて**レッド**に点滅します。フットスイッチでエフェクトをオン/オフします。また、タップモードでは、**ブルー**と**レッド**が点滅してテンポを表示し、パワーアップ・モード機能を設定する場合は、他の色にも点滅します。（[9ページ](#)をご覧ください。）



MIX/ミックス

ディレイミックスを、最小位置のフルドライから最大位置の（ドライシグナルなしの）フルウェットまでコントロールします。ノブ設定が3時の位置で50/50のミックスが得られます。（ドライシグナルの選択については[11ページ](#)をご覧ください。）

MOD/モジュレーション

ディレイタイムにLFOモジュレーションを加えます。最小の位置でモジュレーションオフです。モジュレーションの速度はノブ設定の前半では遅く、後半では速く、ノブを時計回りに回すほど深さが増します。

FOOTSWITCH/フットスイッチ

エフェクトをオン/オフします。エフェクトがオンになると、ペダル上部のLEDは、**レッド**に点灯します。フットスイッチはタップモードにも利用できます。詳細は次のページで説明します。

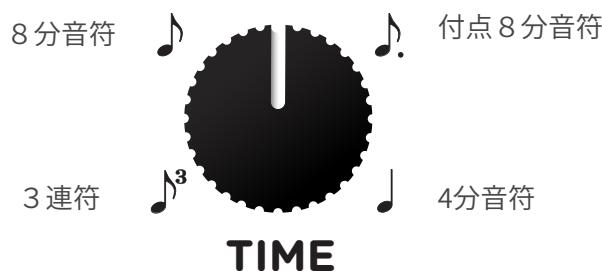
NOTE : フットスイッチを3秒間長押しすると、セーブモードに入る（[31ページ](#)をご覧ください。）か、エクスプレッションペダルのパラメーターの割り当てを設定します。（[16ページ](#)をご覧ください。）

各部の名称と働き

オンボードタップ・モード

フットスイッチを1秒間長押しして、オンボードタップモードを開始/終了します。4分音符のテンポでタップして、ディレイタイムを設定します。^{*}LEDがレッドとブルーに点滅してテンポを示します。最長タップレンジは2秒です。

タップモードのとき、TIMEノブはタップ分割（TAP DIVISION）を設定します。TIMEノブのTAP DIVISIONオプションは、最小値から最大値まで次の図とおりです。



NOTE : オプションで外部フットスイッチを外部タップ、お気に入り、またはインフィニティ（無限モード）機能に設定できます。（[13ページ](#)をご覧ください。）

外部タップ・モードスイッチを使用する場合、オンボードタップ・モードで上記の手順に従って、TAP DIVISION オプションが設定できます。現在のTAP DIVISION 設定はオンボードタップと外部タップの両方に使用できます。（[20ページ](#)をご覧ください。）

リアパネル I/O & コントロール

I/O モードセレクター

Mono: (左の位置) ギターなどのモノラル入力信号で使用します。

出力はモノラル、デフォルトはトゥルーバイパスです。

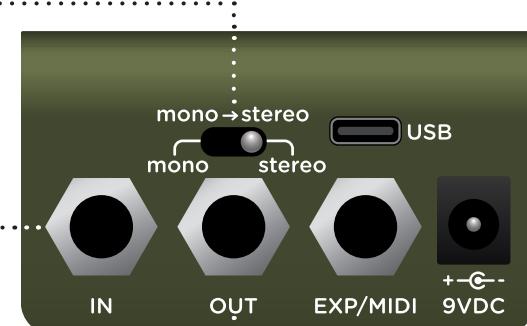
mono → stereo: (センター位置) モノラル入力信号で使用します。

出力はステレオ、バイパスモードはバッファードバイパスです。

Stereo: (右の位置) ステレオ入力信号で使用します。出力はステレオ、バイパスモードはバッファードバイパスです。

ステレオ I/O には、TRSアダプターまたはケーブルが必要です。

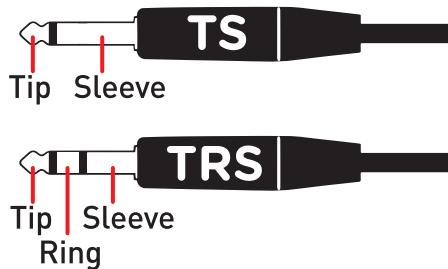
(次の例を参照してください。)



- IN** **OUT**
- ハイインピーダンス、超低ノイズ、ディスクリートクラスA JFET TRSステレオプリアンプ。
- ローインピーダンス TRSステレオ出力。
(TRSジャック)

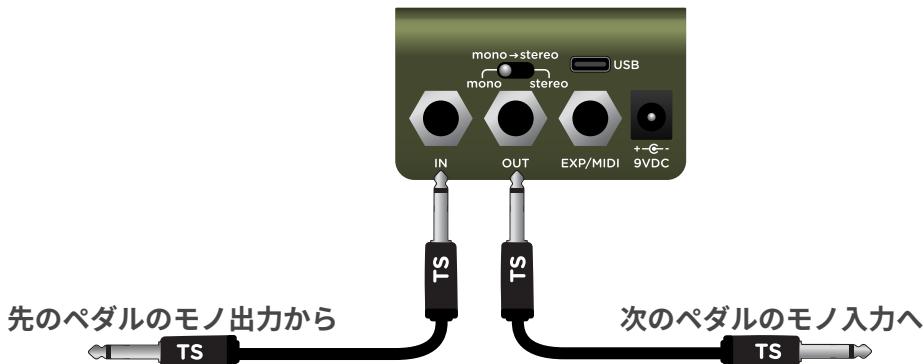
モノ&ステレオI/Oケーブルの接続

本機の**In & Out**ジャックは、TSまたはTRSタイプの1/4“フォーンケーブルでモノまたは、ステレオ接続します。

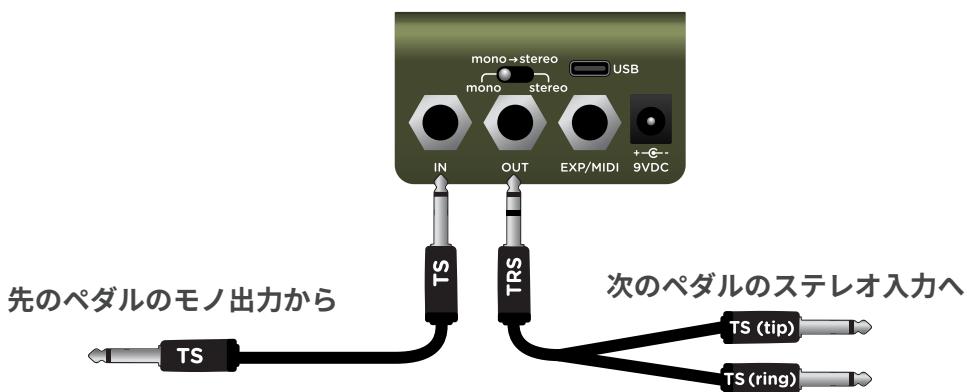


NOTE : TRSステレオ接続では、左信号は**Tip**、右信号は**Ring**を通過します。

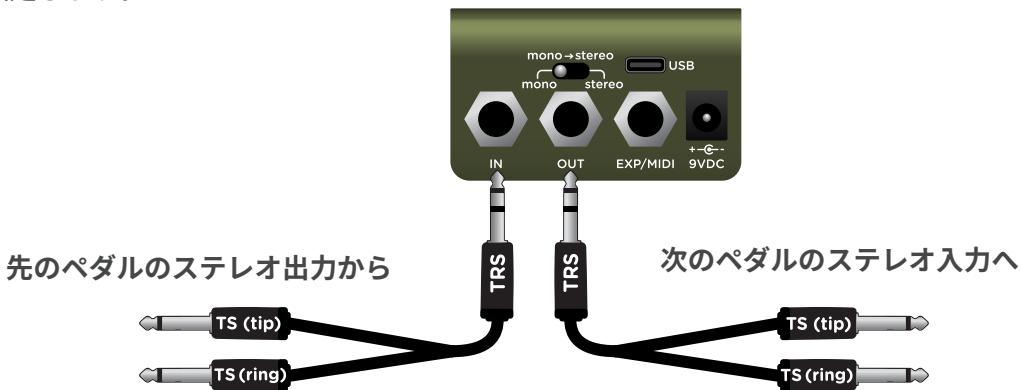
Mono In - Mono Out : 本機をモノ信号チェーンに接続するには、INとOUTの両方にTSケーブルを使用します。 I/Oセレクタースイッチの設定はモノにします。



Mono In - Stereo Out : 本機にモノ信号を入力するにはTSケーブルを使用し、INに接続します。 TRS + デュアルTS ケーブルをOUTに接続し、ステレオ信号をステレオペダルにルーティングします。 I/Oの設定はセレクタースイッチでモノ→ステレオにします。



Stereo In - Stereo Out : 本機をステレオ信号チェーンに接続するには、INとOUTの両方にTRS + デュアルTSケーブルを使用します。 セレクタースイッチをステレオにしてI/Oを設定します。



NOTE : TRS - TRSケーブルを使用してペダルを接続することもできます。 (cloudburstのTRSステレオ入力に接続する場合など)

リアパネル I/O & コントロール

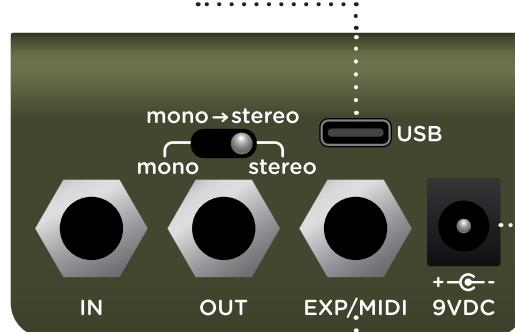
USB-C

MIDI I/Oとファームウェアの更新に使用するコンピューター用接続ジャックです。

9VDC/DC9V

以下の仕様アダプターのみを使用してください。

- 2.1mm、センターマイナス
 - 9VDC
 - 最小250mA
- (アダプターは別売りです。)



EXP/MIDI

本機の外部制御用の多機能通信ジャックです。

以下のいずれかで動作するように設定できます。（[詳細は13ページの「EXP/MIDI ジャックを設定する。」をご覧ください。](#)）

- エクスプレッションペダルモード（[16ページをご覧ください。](#)）
- フェイバリットモード（[17ページをご覧ください。](#)）
- タップモード（[19ページをご覧ください。](#)）
- インフィニティ・モード（[19ページをご覧ください。](#)）
- MIDIモード（[22ページの「MultiSwitch Plusの設定」](#)または、[31ページの「MIDIモードでプリセットを保存する。」](#)をご覧ください。）

パワーアップ・モード

Mono I/O のバイパスモード

背面の I/O モードセレクターをモノラルに設定すると、本機はデフォルトのトゥルーバイパスに設定されます。 バイパスモードをバッファードに設定すると、ペダルチェーンや長いケーブルでの接続でも高域特性は損なわれません。

NOTE : 背面の I/O モードセレクターをモノ→ステレオまたはステレオに設定すると、バイパスモードは自動的にバッファードバイパスに設定されます。

- 1 フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
LED が **レッド** に点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **VOICE (BYPASS MODE)** スイッチを切り替えて、True または Buffered Bypass モードを決定します。スイッチを切り替えると、LED の色が変わり、現在のステータスが表示されます。
 - **True Bypass** (トゥルーバイパス) : スイッチを **3205** (左) の位置、もしくは **3005** (中央) に設定します。LED は **グリーン** に点灯 (デフォルト設定) します。
 - **Buffered Bypass** (バッファードバイパス) : スイッチを **multi** (右) の位置に設定します。LED は **レッド** に点灯します。
- 3 フットスイッチを押してバイパスモードを保存し、本機の使用を開始します。

NOTE : バイパスモードの設定は、電源を入れ直しても維持されます。

スピルオーバー・モード

本機をスピルオーバー・モードに設定すると、現在選択されているプリセットの（ウェット）ディレイ信号がバイパスに流れ込みます。または、プリセットの切り替えに MultiSwitch PLUS や MIDI を使用している場合は、次にロードされたプリセットに流れ込みます。

NOTE : バッファにより、プリセット間のスピルオーバーが機能する前に、現在のプリセットを最低でも5秒間アクティブにする必要があります。エフェクトをバイパスする場合は、すぐにスピルオーバーが利用可能です。

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。

レッド LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 MOD (**SPILLOVER MODE**) ノブでスピルオーバーモードの ON/OFF を切り替えます。

ノブを回すと LED の色が変化し、現在のステータスを表示します。

- スピルオーバーモード オフ：アンバー（デフォルト設定、最小位置）
- スピルオーバーモード オン：パープル（最大位置）

NOTE : スピルオーバーがオンに設定されている場合、バイパスモードはバッファードバイパスに設定されます。

- 3 フットスイッチを押してスピルオーバーモード設定を保存し、本機の使用を開始します。

NOTE : スピルオーバーモードの設定はプリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

パワーアップ・モード

ドライシグナル

ドライ信号は、3つの異なる方法で設定することができます。

- **Digital Mode**（デジタルモード）では、AD 変換されたドライ信号を使用します。MIX ノブが3時の位置を超えた時点でドライ信号を取り除くことができます。
- **Analog Mode**（アナログモード）は、ドライ信号をアナログのまま保持します。
- **Kill Dry Mode**（キルドライモード）は、アナログドライパスの信号をミュートし、MIX ノブは「ウェット（エフェクト音）」の出力レベルのみをコントロールします。この設定は、アンプのパラレルエフェクトループ内で本機を使用する場合、またはミキサーの Aux またはエフェクトセンドに接続しての使用に適しています。

① フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。

レッド LED が点滅したらフットスイッチを離します。



② REPEATS (DRY SIGNAL) ノブを回して、3つのドライ信号オプションのうち1つを選択します。ノブを回すとLEDの色が変わり、現在のステータスを表示します。

- Digital Mode (デジタルモード) : グリーン (デフォルト、最小位置)
- Analog Mode (アナログモード) : レッド (12時の位置)
- Kill Dry Mode (キルドライモード) : ブルー (最大位置)

③ フットスイッチを押してドライシグナル設定を保存し、本機の使用を開始します。

NOTE : スピルオーバーモードの設定はプリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

LED の輝度設定

本機の LED の明るさを調整して、どんな場所や照明条件でも見やすくすることができます。

- ① フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
レッド LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- ② もう一度フットスイッチを押したまま、MOD (LED BRIGHTNESS) ノブを回して LED の明るさを低から高（デフォルト設定）まで調整します。調整が完了したらフットスイッチを離します。
- ③ フットスイッチを押して LED の輝度設定モードを保存し、本機の使用を開始します。

NOTE : LED 輝度設定は、プリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

パワーアップ・モード

EXP/MIDI ジャックの設定

- 1 フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
レッド LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 MIX (EXP/MIDI JACK) ノブを回して、リアパネルの EXP/MIDI ジャックの機能を選択します。このノブを回すと LED の色が変わり、現在のステータスを表示します。

- **Expression Pedal Mode (エクスプレッションペダルモード)** : グリーン (デフォルト設定、最小位置) TRS エクスプレッションペダルにより、どのノブも連続的なコントロールが可能です。(詳細は [16 ページ](#)をご覧ください。)
- **Favorite Mode (フェイバリットモード)** : アンバー (11 時の位置) - Strymon MiniSwitch 等を使用して、フェイバリット設定を呼び出すことができます。(詳細は [17 ページ](#)をご覧ください。)
- **Tap Mode (タップモード)** : レッド (12 時の位置) - Strymon MiniSwitch 等を使用して、テンポを 4 分音符でタップしてディレイのリピートを続けることができます。(ノート分割オプションについては、[4 ページ](#)の FOOTSWITCH の説明をご覧ください。)
- **Infinite Mode (無限モード)** : パープル (2 時の位置) - Strymon MiniSwitch を使用すると、入力信号のリバーブを無限に繰り返すことができます。これは基本的に REPEATS ノブを最大まで回すのと同じです。(設定の詳細は [19 ページ](#)をご覧ください。)

EXP/MIDI ジャックの設定（続き）

- **MIDI Mode (MIDI モード) :** ブルー - Strymon MultiSwitch Plus や外部の MIDI コントローラーが使用できます。
- **MultiSwitch PLUS** - MultiSwitch Plus デバイスは、プリセットモードで 3 つのプリセットにアクセスすることができます。CUSTOM モードではスイッチを使用して、タップ、フェイバリット、およびインフィニティをコントロールすることができます。（詳細は、[26 ページの「MIDI を使用するための設定」](#)をご覧ください。）
- **MIDI** - MIDI モードでは Strymon Conduit または MIDI EXP ケーブルで 1/4 インチの TRS MIDI 接続が可能です。MIDI プログラムチェンジメッセージを送信し、MIDI 機能が利用できます。最大 300 のプリセットが MIDI 経由で使用できます。（詳細は、[31 ページの「MIDI モードでプリセットを保存する」](#)をご覧ください。）



- ③ フットスイッチを踏んで EXP/MIDI ジャックモードを保存し、本機の使用を開始します。

NOTE : EXP/MIDI ジャックの設定はプリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

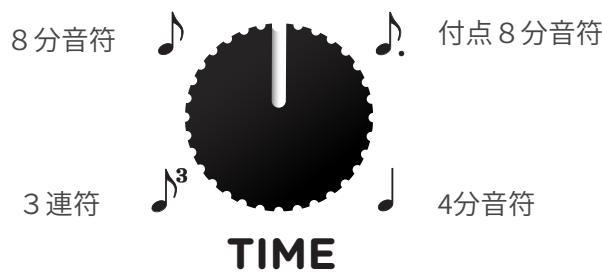
NOTE : EXP/MIDI ジャックが MIDI モードに設定されている場合、EXP/MIDI ジャックにケーブルを接続すると、ペダルがバッファードバイパスに設定されます。

外部コントロール

ディレイタイムを MIDI クロックに同期する

MIDI モードに設定すると、BRIGはEXP/MIDIジャック経由で受信したMIDIクロックに自動的に応答し、BRIGのディレイタイムを受信MIDIクロックBPMに同期します。

MIDIクロックに同期している間、オプションで**TIME**ノブを使用して、受信クロックのテンポのタップディビジョンを選択できます。ノブの最小値から最大値までのオプションは次のとおりです。



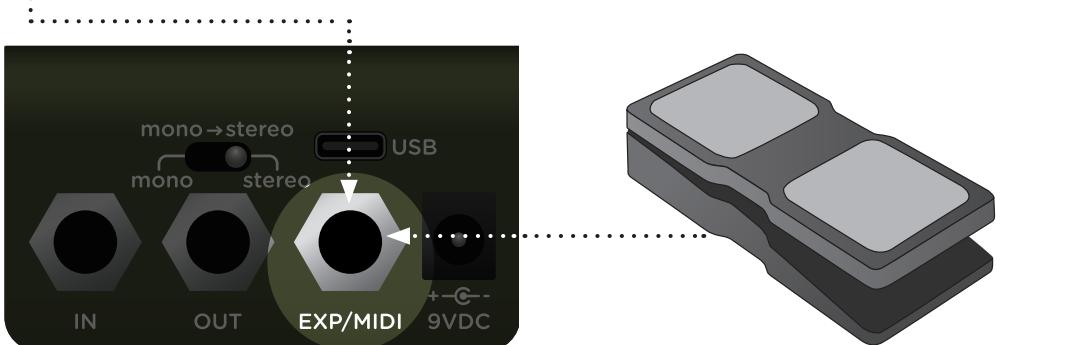
NOTE : MIDI OUTがTHRUに設定されている場合は、受信したMIDIクロックは BRIGのMIDIアウトにも送信されます。[30ページ](#)をご覧ください。

外部コントロール

エクスプレッションペダルのセットアップ

TRS エクスプレッションペダルを使用し、本機のノブをリモートコントロールできます。デフォルト設定では、エクスプレッションペダルで **MIX** ノブがコントロールできるように設定されています。

- ① EXP/MIDI ジャックを Expression Mode に設定します。(設定の手順は [13 ページ](#)をご覧ください。)
- ② TRS ケーブルを使用して、エクスプレッションペダルを EXP/MIDI ジャックに接続します。



- ③ LED がグリーンに点滅するまで、フットスイッチを 3 秒以上長押しします。
- ④ エクスプレッションペダルをヒールの位置まで動かします。グリーン LED の点滅が止まり、点灯に変わります。
- ⑤ エクスプレッションペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブ設定を行います。
- ⑥ エクスプレッションペダルをトウの位置に動かします。LED がレッドに変わります。
- ⑦ エクスプレッションペダルのトウポジションでコントロールしたいノブ設定を行います。
- ⑧ 本機のフットスイッチを押してエクスプレッションペダルの設定を保存して終了します。

NOTE : エクスプレッションペダル設定の割り当ては、フェイバリット & MIDI プリセットごとに保存されます。

NOTE : 本機がMIDIエクスプレッションに応答するように設定されており、EXP/MIDIジャックがMIDIモードに設定されている場合は、MIDI CC#100を送信して0（ヒール）～127（トウ）エクスプレッションペダルのセットアップが実行できます。

外部コントロール

フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード

フェイバリット設定を保存＆呼び出すために、MiniSwitchまたはその他の外部ラッチ式フットスイッチをTRSケーブルで接続します。

NOTE : strymon MiniSwitchの内部ジャンパーをファクトリー・デフォルトの**FAV/BOOST**モードにして使用します。この設定でのMiniSwitchの使用時は、**FAV/BOOST**モードに戻します。
([19ページ](#)をご覧ください。)

- ① **EXP/MIDI** ジャックをフェイバリットモードに設定します。 (詳細は[13ページ](#)をご覧ください。)
- ② MiniSwitch (または外部ラッチ型スイッチ) をTRSケーブルで**EXP/MIDI**ジャックに接続します。



- ③ 好みのサウンドをダイヤルインします。
- ④ サウンドを新しいフェイバリット設定として保存するには、LEDが**グリーン**に点滅するまで少なくとも2秒間フットスイッチを押します。次に、フェイバリット設定を保存するためにLEDが**ブルー**に点灯するまでフットスイッチを押し続けます。外部フットスイッチを踏んで、現設定とフェイバリット設定を切り替えます。

外部コントロール

フェイバリットスイッチセットアップ&コンペアモード（続き）

コンペア・モード

フェイバリットまたはMIDIプリセットが呼び出された状態で、ノブまたはスイッチと現在のノブまたはトグル位置が保存された設定と一致すると、LEDがグリーンに点滅します。

NOTE: パワーアップモードの設定は、グローバルに適用され、プリセット毎には保存されません。

NOTE : MIDIを使用する場合、プリセットの保存の動作は異なります。（詳しくは[31ページ](#)をご覧ください。）

NOTE: フェイバリット設定は、MIDIプログラムチェンジの「0」に保存されます。

外部コントロール

タップおよびインフィニティ・モードスイッチの設定

Strymon MiniSwitchまたは外部のアンラッチ (モーメンタリー) タイプのスイッチを使用して、本機のタップテンポおよびインフィニティ（無限）モード機能にアクセスできます。

Strymon MiniSwitchには内部ジャンパースイッチが含まれており、Tap および Infiniteスイッチングで機能するには、工場出荷時の **FAV/BOOSTモード** 設定から変更する必要があります。MiniSwitchのジャンパースイッチを設定するには、次の手順に従います。

- ① MiniSwitchのシャーシ底部にある4本のネジを緩めます。
- ② ボトムシャーシを開いたら、基板の下にある小さなジャンパーを中央と右のピン (**FAV/BOOSTモード**) から中央と左のピン (**TAPモード**) に変更してください。

MiniSwitch 回路基板のジャンパースイッチの拡大図



FAV/BOOST モード

本機のフェイバリットスイッチモードの場合は、ジャンパーを右2つのピンに配置してください。（MiniSwitchは工場出荷時の設定です。）

TAPモード

BRIGのタップおよびインフィニティ・モードの場合は、左2つのピンに配置します。

- ③ ジャンパーの設定が完了したら、MiniSwitchのカバーをしっかりと取り付けてください。外部のフットスイッチを設定するには、以下のタップおよびインフィニティ・モードのセットアップをご覧ください。

外部コントロール

外部タップモードのスイッチ設定

MiniSwitchまたはその他の外部モーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで接続して、ディレイ タイムをタップします。（[5ページ](#)で説明したように、オンボードタップ・モードに本機の**FOOTSWITCH**が使用できます。）

NOTE : タップスイッチの機能を使用するために、MiniSwitchの内部ジャンパースイッチを工場出荷時の**FAV/BOOST**モードから**TAP**モードに変更する必要があります。詳細は[19ページ](#)をご覧ください。

① EXP/MIDIジャックをタップモードに設定します。（[13ページ](#)をご覧ください）

② 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。



③ 4分音符でテンポをタップしてディレイタイムを設定します。
本機のLEDが**レッド**と**ブルー**に点滅してテンポを示します。
最大タップ範囲は2秒です。

NOTE : 外部タップモードでは、現在の**TAP DIVISION**設定が使用されます。**TAP DIVISION**設定を変更するには、本機のフットスイッチを使用してオンボードタップモードに入る必要があります。[5ページ](#)をご覧ください。

外部コントロール

インフィニティ・モードのスイッチ設定

MiniSwitchまたは他の外部のモーメンタリーフットスイッチをTRSケーブルで接続し、そのスイッチを押すと、無限のディレイリピートを得ることができます。

NOTE : インフィニティ・モードスイッチ機能を使用するには、MiniSwitchの内部ジャンパースイッチを工場出荷時の**FAV/BOOST**モードから**TAP**モードに変更する必要があります。

詳細は[19ページ](#)をご覧ください。

- ① EXP/MIDIジャックをインフィニティ・モードに設定します。 ([13ページ](#)をご覧ください)

- ② 外部スイッチをTRSケーブルでEXP/MIDIジャックに接続します。



- ③ インフィニティ・モードを有効にするには：MiniSwitchを長押しして、無限リピートを有効にします。外部フットスイッチを離してインフィニティ・モードを解除します。

外部コントロール

MultiSwitch PLUS 使用時の本機の設定

本機とMultiSwitch Plusのコンビネーションで、追加機能にアクセスできます。

- ① フットスイッチを2秒以上長押ししながら電源を接続します。
LEDが点滅したらフットスイッチを離します。
- ② TIMEノブを反時計回りいっぱいに回して、MIDIチャンネルをチャンネル1に設定します。LEDはグリーンに点灯します。
- ③ FLITERノブを回して、次のMIDIオプションから1つを選択します。
 - ・MIDI CC、他のデータを送る：グリーン
 - ・他のデータを送る：アンバー
- ④ MIXノブを時計回りに回しきって、EXP/MIDIジャックをMIDIモードに設定します。
LEDはブルーに点灯します。
- ⑤ 本機のフットスイッチを押して、MIDIチャンネル、MIDI出力設定、およびEXP/MIDIジャックモードを終了＆保存します。

本機使用時の MultiSwitch PLUS の設定

本機と使用する際のMultiSwitch PLUSを、プリセット選択用のプリセットモード、またはタップ/フェイバリット/インフィニティコントロール用のカスタムモードに設定します。

- 1 TRSケーブルを本機のEXP/MIDIジャックに接続します。



- 2 プリセットモードの場合—MultiSwitch PLUSのAフットスイッチを押したままTRSケーブルのもう一方の端子を3つのジャックのいずれかに接続します。Aフットスイッチを離すと、MultiSwitch PLUSの全LEDがグリーンに点滅します。



カスタムモードの場合—MultiSwitch PLUSのCフットスイッチを押したままTRSケーブルのもう一方の端子を3つのジャックのいずれかに接続します。Cフットスイッチを離すと、MultiSwitch PLUSの全LEDがグリーンに点滅します。

外部コントロール

MultiSwitch PLUS をプリセットモードで使用する場合

MultiSwitch PLUSを使用して、本機のプリセット選択/保存をします。



NOTE : MultiSwitch Plusのフットスイッチ A、B、および C は、MIDI プログラムチェンジ1、2、および3に対応します。

① 点灯していないスイッチを踏むと、対応するプリセットが呼び出されます。

② 点灯しているスイッチを踏むと本機はバイパスされます。

MultiSwitch Plusで本機のプリセットを保存する

① 保存したい本機のサウンドをダイヤルインします。

② LED がグリーンに点滅するまで、本機のフットスイッチを3秒以上長押しします。

③ MultiSwitch PlusのA、B、またはCフットスイッチを押して、現在のペダルの設定を目的のスイッチへ保存します。

MultiSwitch PLUS を タップ / フェイバリット / インフィニティ・モードで使用する

MultiSwitch PLUSを使用して本機の機能をコントロールします。



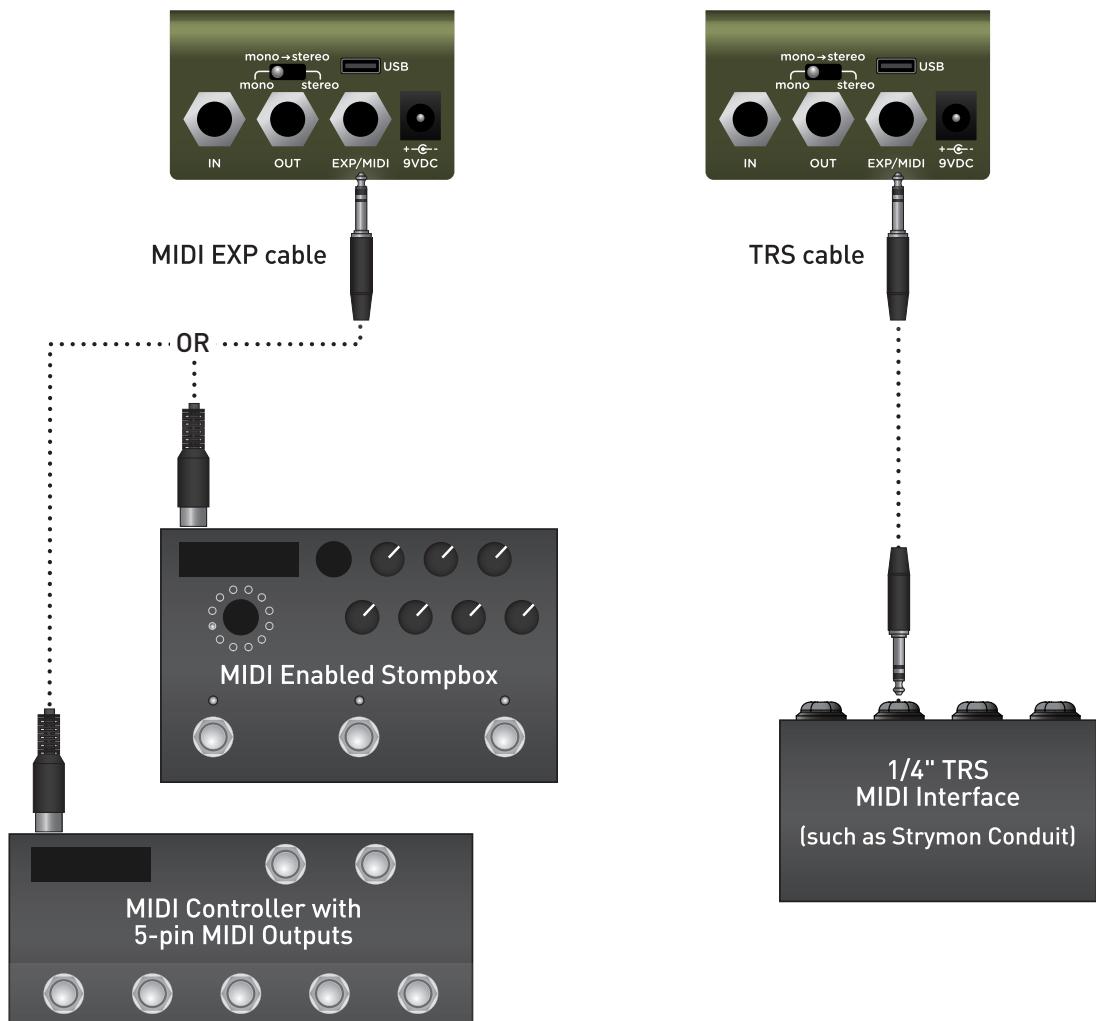
- フットスイッチAをタップして、本機のリピート速度をタップ入力します。
- フットスイッチBを押すと、指定されたフェイバリットプリセットがリコールされます。
- フットスイッチCを長押しすると、その間、無限のディレイリピートが再生されます。

MIDI 機能

MIDI を使用するための設定

MIDIを使用すると、EXP/MIDIジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースを接続＆使用して、本機の300プリセットロケーションの中からを任意のプリセットを選択することができます。この機能には、Strymon MIDI EXPケーブルまたは、Strymon Conduitなどの少なくとも1/4インチ出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェースが必要です。

NOTE : Strymon MIDI EXP ケーブルを使用する場合は、MIDI OUTモードをオフに設定する必要があります。 (詳細は[30ページ](#)をご覧ください。)



MIDI 機能

MIDI を使用するための設定（続き）

ステップ1 – EXP/MIDIジャックをMIDIモードに設定する

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら電源を接続します。
LEDがレッドに点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 MIX (EXP/MIDI JACK) ノブをLEDがブルー（最大位置）になるまで時計回りに回して、MIDIモードを選択します。

NOTE : MIDIデータは、EXP/MIDIジャックのTRS接続のTIP（チップ）で受信されます。

MIDI 機能

MIDI を使用するための設定（続き）

ステップ2 – MIDIチャンネルの設定



- ③ TIME (**MIDI CHANNEL**) ノブを回して、MIDI通信チャンネルを設定します。
LEDはステータスを表示します。ノブの設定位置は次のとおりです。

- ・ チャンネル 1 : グリーン (デフォルト、最小位置)
- ・ チャンネル 2 : アンバー (10時の位置)
- ・ チャンネル 3 : レッド (12時の位置)
- ・ チャンネル 4-16 : ブルー (最大位置) - 次に受信したMIDI プログラムチェンジメッセージで設定します。1/4" MIDI接続が必要です。

LEDがブルーに変わり、ペダルがMIDIプログラムチェンジメッセージを受信するまで点滅します。メッセージを受信すると、ペダルはメッセージを送信したMIDIチャンネルに設定され、パワーアップ・モードを終了してBRIGの使用を開始できるようになります。
(MIDIチャンネル4~16を正常に設定完了した場合は、次のページの項目④をスキップできます。)

MIDI 機能

MIDI を使用するための設定（続き）

ステップ2 – MIDIチャンネルの設定（続き）



- 4 フットスイッチを押して終了し、MIDIチャンネル設定を保存して本機の使用を開始します。

NOTE : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、フットスイッチがバイパスの時にCC#102で127のバリュेを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、フットスイッチがオンになります（LEDが**レッド**に点灯します）。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用して本機へデータを送信するだけの場合は、必ずMIDI OUTモードを**オフ**にしてください。（MIDI OUTモードの設定については、[30ページ](#)をご欄ください。）

NOTE : MIDI チャンネルの割り当ては、フェイバリット設定またはMIDIプリセット毎には保存されません。

MIDI 機能

MIDI を使用するための設定（続き）

ステップ 3 - MIDI OUTモードの設定

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら電源を接続します。
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- ② **FILTER (MIDI OUT)** ノブを回して、本機から他のMIDIデバイスに送信するMIDIデータの種類を選択します。LEDが一瞬点滅して選択を表示します。
- **OFF** : **レッド** (デフォルト、最小位置) - 本機からMIDIメッセージは送信されません。
 - **THRU** : **ブルー** (11時の位置) - 受信したMIDIメッセージは、BRIGによって生成された追加のMIDIメッセージなしでMIDI OUTに送信（出力）されます。
 - **SEND CC, OTHER** : **グリーン** (1時の位置) - 本機によって生成されたMIDI CCおよびSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。
 - **SEND OTHER** : **アンバー** (最大位置) - 本機によって生成されたSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。

- ③ フットスイッチを押してMIDI OUTモードを保存し、終了します。

NOTE : MIDIデータは、EXP/MIDIジャックのTRS接続の**RING**から送信されます。

MIDI 機能

MIDI モードでプリセットを保存する

MIDIモードでは、現在の設定を本機の300のプリセットロケーションのいずれかにいつでも保存することができます。

- 1 フットスイッチを3秒以上長押ししてセーブモードに入ります。LEDはグリーンに点滅し、本機がMIDIプログラムチェンジメッセージを受信できる状態になります。



- 2 ペダルの状態を現在のプリセット位置に保存するには、LEDがブルーになるまでフットスイッチを3秒以上長押しします。



ペダルの現在の状態を任意のプリセット位置に保存するには、本機の現在選択しているMIDIチャンネルでMIDIプログラムチェンジをユニットに送信します。

例えば：

- MIDI Program Change #10を送信して、プリセットをペダルの対応するメモリー位置に保存します。
- 保存したプリセットを呼び出すには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからMIDI Program Change #10を送信します。

MIDI スペシフィケーション

MIDI プログラムチェンジ

本機には、0～299まで順番に番号が付けられた300個のプリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは、最大数128（0-127）であるため、プリセットは3つのMIDIパッチングにグループ分けされます。

MIDI パッチバンク

MIDI BANK 0 = プリセット 0-127

MIDI BANK 1 = プリセット 128-255

MIDI BANK 2 = プリセット 256-299

MIDIプログラムチェンジ0 FAVセッティング（詳しくは[17ページ](#)をご覧ください。）

MIDIプログラムチェンジ1 MultiSwitch Plus フットスイッチ 1

MIDIプログラムチェンジ2 MultiSwitch Plus フットスイッチ 2

MIDIプログラムチェンジ3 MultiSwitch Plus フットスイッチ 3

MIDIプログラムチェンジ127 マニュアルモード（ノブ）

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は常にMIDIパッチバンク0で起動するため、最初の127のプリセット内にとどまる場合は、標準のMIDIプログラムチェンジメッセージを送信してプリセットをロードするだけです。

MIDIバンク1と2、もしくは1か2を使用する場合は、各MIDIプログラムチェンジの前に標準のMIDIバンクチェンジメッセージ（MIDI CC #0、値はMIDIバンク番号と同じ）を送信することをお勧めします。

MIDIバンク0、1、または2でプログラムチェンジ127を選択すると、本機はマニュアルモードになります。このモードでは、本機は現在のノブやスイッチの設定に戻ります。このプリセット位置にプリセットデータを保存することはできません。

MIDI スペシフィケーション (続き)

MIDI CCs

CC#	PARAMETER	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	(0=Bank 1, 1=Bank 2, 3=Bank 3)
11	Voice	1-3	(1=3205, 2=3005, 3=multi)
12	Time	0-127	
13	Filter	0-127	
14	Repeats	0-127	
15	Mod	0-127	
16	Mix	0-127	
17	Tap Division	0-3	(0=triplet, 1=eighth, 2=dotted eighth, 3=quarter)
27	Footswitch	0, 127	(0=release, 1-127=press)
93	Tap	0, 127	(any value)
97	Infinite	0, 127	(0=release, 1-127=hold)
100	Expression Pedal	0-127	(0=heel, 127=toe)
102	Bypass/Engage	0, 127	(0=bypass, 1-127=engage)

NOTE :すべてのオン/オフパラメーターは、0=オフ、その他の値（1～127）=オンとして実装されています。しかし、MIDIコントローラーの多くはオン/オフスイッチとして0と127を送信するため、これらは「0」と「127」として記載されます。

NOTE :一部のMIDIアプリケーションおよびコントローラーは、MIDI列挙を「0」ではなく「1」から始めます。このような場合は、表の数値を1つ上げてください。

ファクトリーリセット（工場出荷時の設定へリセットする）

ファクトリーリセットを実行すると、ペダルが工場出荷時のデフォルトのパワーアップ機能に復元され、保存されているすべてのプリセットは工場出荷時のデフォルト設定に置き換えられます。

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら電源を接続します。
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- ② フットスイッチを再度押したままで、**FILTER (FACTORY RESET)** ノブを最小～最大まで2度回します。ノブを回し切るあたりでLEDの色が変わり、リセットが行われている際には**レッド**に点滅します。

- TURN1、最小～最大まで：アンバー
- TURN2、最大～最小まで：レッド
- TURN3、最小～最大まで：アンバー
- TURN4、最大～最小まで：すぐにフットスイッチを離します。LEDが**レッド**に点滅し、本機がリセットされて再起動します。

ファクトリーリセット（続き）

ファクトリー・デフォルト・セッティング

FEATURE	FACTORY DEFAULT SETTING
Bypass Mode:	True Bypass
Spillover Mode:	Off
Dry Signal:	Digital
LED Brightness:	Maximum
EXP/MIDI Jack:	Assigned to Expression Mode and configured to control the MIX knob
MIDI Channel:	1
MIDI OUT Mode:	Off
MIDI Expression:	On

主な特徴

- dBucketアルゴリズムが古典的なBBDチップの音響&動作特性をすべて正確に再現します。
- ディレイリピートの柔軟なトーンコントロールを実現したFilter
- 中程度から激しくモジュレーションされたディレイリピートが調節可能なLFOモジュレーション
- ビンテージBBD回路スタイルを再現する3つのボイスモード。
3205: 30~300msec、**3005**: 100ミリ秒~1秒、**multi**: クロス結合された2つの超クリーンなBBDディレイラインが奏でる黄金比リピート
- 4つのタップテンポのノート分割 (3連符、8分音符、付点8分音符、4分音符)
- デジタル変換されないゼロレイテンシーのドライ信号を提供するアナログドライパスオプション
- Kill Dryモード: ドライ信号をミュートし、ウェット信号のみを制御します。
- ステレオインーステレオアウト (TRS入出力ではない機器との接続は、各ジャックに「TRS - dual TS」アダプターまたはケーブルが必要です。)
- トゥルーバイパス (電磁リレースイッ칭)
- TRSエクスプレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch Plus、TRS MIDIが接続可能なエクスプレッション入力
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- ファームウェアの更新とStrymon Nixie エディターソフトウェアへの接続が可能なUSB-Cジャックを搭載。
- +10dBu最大入力レベルが楽器からラインレベルの広い信号への対応を可能にしました。
- 高性能520MHz ARM スーパースカラープロセッサーを採用。
- 32 ビット浮動小数点演算
- 超低ノイズ、高性能 A/D および D/A コンバーター
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入力インピーダンス	1 Meg Ohm
出力インピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	116 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 4.3 cm x (H) 5.6 cm

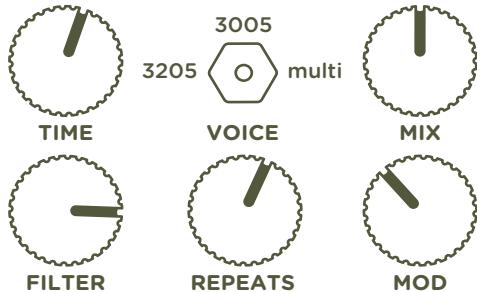
電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、250mA以上のアダプターを使用してください。9Vより高い電圧の電源に接続しないでください。アダプターは付属されていませんので、別途ご購入ください。

Appendix 1 : サンプルセッティング

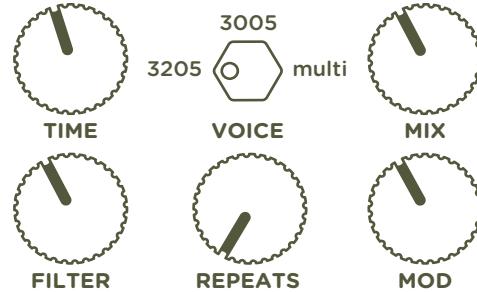
サンプルセッティング

— Classic Mod Delay —



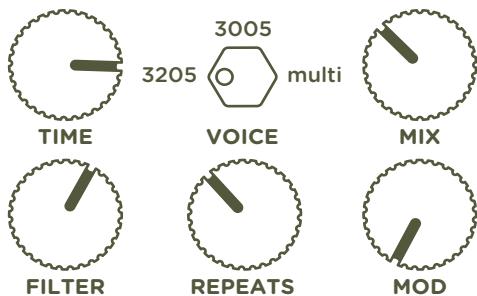
MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite

— 11 O'Clock Slap —



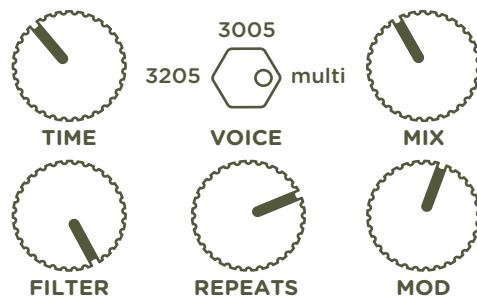
MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A

— Always On —



MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B

— Verby —



MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C

Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターとその機能には、電源投入手順によってアクセスできます。すべてのパワーアップ機能は、電源を入れ直しても維持されます。

- ① フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。
- ② 以下のコントロールで必要な機能を調整します。
- ③ フットスイッチを押して変更を保存し、パワーアップモードを終了します。

POWER UP MODE	OPTIONS
バイパスモード モノI/O 図を用いた説明は 9 ページ をご覧ください	VOICE スイッチをセットして行います。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• トゥルーバイパス:スイッチ 3205 (左の位置) または 3005 (センター) ポジション LED グリーン (デフォルト設定)• バッファードバイパス:スイッチ multi (右) ポジション LED レッド
スピルオーバーモード 図を用いた説明は 10 ページ をご覧ください	MOD ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• オフ: アンバー (デフォルト設定、最小位置)• オン: ペープル (最大位置)
ドライ信号 図を用いた説明は 11 ページ をご覧ください	REPEATS ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• デジタル: グリーン (デフォルト設定、最小位置)• アナログ: レッド (12 時の位置)• キルドライ: ブルー (最大位置)
LED 輝度 図を用いた説明は 12 ページ をご覧ください	もう一度フットスイッチを長押しして MOD を回すと LED の輝度が調整できます。
EXP/MIDI ジャック モード 図を用いた説明は 13 ページ をご覧ください	MIX ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• Expression/ エクスプレッション: グリーン (デフォルト設定、最小位置)• Favorite/ フェイバリット: アンバー (11 時の位置)• Tap/ タップ: レッド (12 時の位置)• Infinite/ インフィニティ: ペープル (2 時の位置)• MIDI: ブルー (最大位置)

パワーアップモード - クイックリファレンス（続き）

POWER UP MODE	OPTIONS
MIDI チャンネル 図を用いた説明は 28 ページ をご覧ください	TIME ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• 1 : グリーン (デフォルト設定、最小位置)• 2 : アンバー (10 時の位置)• 3 : レッド (12 時の位置)• 4 - 16: ブルー (最大位置、次に受信した MIDI プログラムチェンジメッセージによって設定されたチャンネル。)
MIDI OUT モード 図を用いた説明は 30 ページ をご覧ください	FILTER ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスが LED で点滅表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• OFF : レッド (デフォルト設定、最小位置)• THRU : ブルー (11 時の位置)• ON CC, OTHER : グリーン (1 時の位置)• ON OTHER : アンバー (最大位置)
ファクトリーリセット 図を用いた説明は 34 ページ をご覧ください	フットスイッチを押したまま、 FILTER ノブを 0% から 100% まで 2 回戻します。LED にステータスが表示されます。

NOTE : プリセット毎にペダルの機能を設定する場合は、[16ページ](#)の「エクスプレッションペダルのセットアップ」をご覧ください。

品質保証について

本機はStrymon日本総代理店 株式会社HotoneJapanが、ご購入後1年以内の品質保証を行っております。修理が必要な際は、購入時の保証書(購入期日及び販売店の捺印 必須)を提示の上、購入された販売店にご依頼下さい。保証書の提示が無い場合は、保証内であっても保証の対象にはなりません。

保証対象者は「購入者」であるファーストオーナーに限られます。中古品を売買するサイトや販売店からの中古品、譲渡された製品は、この保証の対象にはなりません。また、海外で購入されたStrymonプロダクトは、国内では保証の対象にはなりませんので、ご了承ください。

ノート：全てのStrymon製品はシリアルナンバーが登録&保存されています。

注：本書に記載された文章、図版、作品は、全て「著作権」及び、それに付随する「著作隣接権」等の諸権利を保有しています。弊社では、内容を理解することを目的とする使用方法のみを許諾しております。

▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

品質保証について

■ 取り扱いについて

乾いた柔らかい布を使用して、外装をきれいに保ちましょう。
クリーナーやシンナーは使用しないでください。

■ サービスについて

このマニュアルに記載されていない操作や取り扱いは行わないで下さい。
記載外の使用方法で本機を使用されると故障する場合が考えられます。本書に基づいた使用方法に限定してください。記載外の使用方法による破損や修理は、保証期間中の機器であっても保証対象外になります。本体の取り扱いは慎重に行なって下さい。万が一、負傷された場合でも弊社では一切の責任を負いません。
修理が必要な場合は、ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。

© 2023 Damage Control Engineering, LLC.

Strymon, the Strymon logo, and Damage Control Engineering are trademarks or registered trademarks of Damage Control Engineering, LLC. in the U.S. and/or other jurisdictions.

strymon 正規輸入販売代理店

株式会社HotoneJapan

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」
ページよりご連絡ください。

商品の修理について：ホームページ内の「修理について」
ページよりご連絡ください。